

【問題用紙】

令和8年度 愛媛大学大学院農学研究科入学者選抜学力検査

(生物環境学 専攻 地域環境工学 コース)

専門科目	農村計画学
------	-------

第 1 頁 (1 頁の内)

問1～4に答えよ。解答は解答用紙に記入すること。

問1. 以下の用語について、それぞれ簡潔に説明せよ。(目安：100字程度)

- (1) 農地の集積と集約
- (2) 公共財
- (3) 開発許可制度
- (4) ゾーニング

問2. 水田の圃場整備を通して、①労働生産性の向上、②土地生産性の向上及び③土地利用秩序の形成が図られる。これら3つの目的がどのように達成されるのか、該当する整備や手法を交えて具体的に説明せよ。その際、次の用語を必ず使用すること：【暗渠排水、農業機械、維持管理、土層改良、高収量作物生産、換地制度、非農用地】

問3. 都市計画区域と農業振興地域の重複という観点から、非線引き都市計画区域と線引き都市計画区域とでは、農村地域の開発の取り扱いが異なる。どのように違うのか、具体的に説明せよ。その際、次の用語を必ず使用すること：【届け出制、市街化調整区域、農地転用、二重の開発規制】

問4. 水田生態系と圃場整備について、以下の問に答えよ。

- (1) 圃場整備を実施することで、水田生態系に負荷がかかることが予想される。この理由を次の用語を用いて説明せよ。【乾田化、再生可能なスピードと規模、移動阻害】
- (2) 圃場整備を実施する際、環境との調和に配慮するために、水田生態系への影響緩和措置が検討される。この時、ミティゲーション5原則（修正、回避、代償、軽減、最小化）の考え方が参考にされるが、これら原則の検討の優先順位を答えよ。
- (3) (2)の5原則のうち1つを選択し、例示して説明せよ。